

英語科学習指導案

- 1 単元名 『我が町・油山の紹介』
(SUNSHINE ENGLISH COURSE 3 PROGRAM 3 Let's Communicate)

2 単元の評価規準

観点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力
評価 規準	身近なことを積極的にALTに伝えようとしている。	英語で身近なことについて適切に書くことができる。	ALTが話す英語を正確に聞き取ることができる。

3 単元について

- (本単元において、つきたい力と教材化の関連性や有効性について)

本単元 Let's Communicate は、Program 3 の学習内容をListening, Speaking, Writing Task で内容定着を図るものである。『わが町・油山の紹介』と題して、生徒達が生まれ育った油山の建物や自然について、英語でALTに紹介させたい。外国語の目標は実践的コミュニケーション能力の育成であり、普通の授業でも4技能の連携を図った活動を行っているが、実際の場面を想定させることに難しさを感じたり、どこか与えられた活動をこなすだけ、という授業になったりすることも多い。自分達の町のことを英語で外国人に紹介するという活動は、生徒にとって身近なことであり、生徒達も相手に伝えたいという気持ちが増すであろう。また、Program 3 で学んだ受動態の表現を取り入れることで、学習内容の定着が図られるものと考えられる。また、紹介する英文を書くという作業で、表現力の育成にもつながる。ALTが住んでいる町の建物や自然について紹介してもらい、聞く力も高めさせたい。この自分たちのことを伝えるだけでなく、相手のことを理解しようとする態度をつけさせることが、われわれ、人間が共に生きていくうえで大事な力となっていくのではないかと考える。

- (生徒の実態について：学力実態調査の結果をもとに)

本学級の生徒は男子22人、女子16人の合計38人である。全体的な学力としては、すべての観点で全国平均を上回っている。コミュニケーションへの関心・意欲・態度においては、女子が平均をやや下回っているものの、全体的には平均並みである。「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4つの領域においては全国平均を上回っている。しかし、英語を苦手と感じている生徒もいる。普通の授業においても、積極的にコミュニケーションを図ろうとする生徒と、知識だけをつけようとする生徒、基礎的な力が身につけていないので、答えを写すことで精一杯という生徒がいる。積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成することは、この学級、学年にとって大きな課題でもある。その点から考えても、本単元における活動は、有意義なものと考えられる。

- (指導にあたって：指導内容や指導方法の留意点や工夫点)

指導にあたっては、英語でALTに油山の建物や自然について伝える活動を通して、積極的にコミュニケーションをとろうとする態度を育成することを目標として行っていく。まず、油山にある建物や自然についての英文を作らせる。指導者の海外での体験談などから、油山のことをALTに伝えるという意欲を高めさせ、資料や辞書などを活用し、より多くの紹介文を作らせたい。英文を作ることを苦手と感じている生徒には、例文を提示するなどして、完成させたい。次に、作った英文をALTに紹介させる。班ごとに発表者を決め、写真や絵などを使って、より分かりやすい紹介になるようにさせる。発表に当たっては、班単位で練習を行わせ、できるだけ見ないで言えるよう指導を行う。また、時折ALTに質問をしてもらい、それに応じることもさせながら、より実践的にしていきたい。さらに、ALTの住んでいる町の建物や自然についての話を聞かせる。同じように絵や写真を使い、内容理解に努めさせるとともに、生徒にも質問させ、お互いをより理解しあうことに取り組ませたい。最後に、この我が町のことをより多く伝えあい、より知ろうとする態度が、人と人とが共生していく上でとても大切なのだということを話し、本時のまとめとしたい。

5 本時 5校時 (2/2)

①本時の評価規準・評価方法

関：油山の建物や自然について積極的にALTに伝えようとしている。
 〈様相分析, プリント分析〉
 理：ALTが話す内容を適切に聞き取ることができる。 〈プリント分析〉

②資料等

ワークシート, 和英辞書, 油山に関する資料 (生徒が集めたもの)

③本時の指導計画・評価計画

過程	学 習 活 動	指導上の留意点	B・Aの状況 Cの生徒への手だて	形態	配時
導 入	1. あいさつを行う。	・元気よく行わせる。		全体	1分
展 開	2. 前時の学習内容を振り返り, 本時のめあての確認をする。 【ALT に油山の建物や自然についていっぱい紹介しよう!】			全体	4分
	3. 班ごとに紹介する練習を行う。 ・発表者はできるだけ見ないで発表できるよう読みの練習をする。 ・ほかの生徒は聞き役になり, 声の大きさや態度など確認する。 ・写真や絵の準備をする。	・発表する際の注意点について説明する。 ・聞き役にはアドバイスの仕方等指導する。 ・読み方, 声の大きさ, 態度などの指導を行う。	関：油山の建物や自然について積極的にALTに伝えようとしている。	班	15分
	4. ALT に油山の建物や自然について英語で紹介する。 ・各班ごとに発表する。 ・ALT への質問を入れる。 ・ALT の質問に答える。	・より多くのことを伝えようとする姿勢を大事にさせる。 ・ALT に時折質問してもらう。		全体	15分
ま と め	5. ALT より住んでいる町の建物や自然についての紹介を聞く。 ・疑問点やより知りたいことを質問する。	・プリントを見るのではなく, ALT を見て聞くよう指導する。 ・簡単な Q & A をして, 内容を確認させる。	(理) A : ALT が話す内容を正確に聞き取ることができる。 B : ALT が話す内容をおおむね聞き取ることができる。 ※ Cの生徒への手だて 分りにくい英文にはヒントを与えながら, 内容を理解させる。	全体	10分
	6. 本時のまとめとあいさつをする。	・お互いの町のことを伝え合うのは, 英語の力を高めるだけでなく, お互いをより理解しあう上で大事な活動であることを述べる。 ・プリントを回収する。 ・元気よく行わせる。		全体	5分

4 単元の指導計画・評価計画

配 時	学習活動・内容	指導上の留意点	評価規準 (評価の方法)	(コミュニケーションへの関心・意 欲・態度) 期待する姿	(表現, 理解, 言語や文化)		
					おおむね満足できる状況 【B】	十分満足できる状況 【A】	
1 本 時	英語で油山の建物 や自然について ALTに伝えてみよう	<ul style="list-style-type: none"> 相手に伝えようとする意欲を高めさせるため、海外での体験談を話す。 紹介する題材を用意し、班ごとに選ばせる。 	表： 英語で油山の建物や自然について適切に書くことができる。 〈プリント分析〉 関： 油山の建物や自然について積極的にALTに伝えようとしている。 〈様相分析, プリント分析〉 理： ALTのオーストラリアについての話の内容を聞き取ることができる。 〈発言チェック〉	・できるだけ多くのことを伝えようとしている。	・ALTが理解できる紹介文を書くことができる。 ☆：Cの生徒への手だて 紹介文の例を与え、語を入れかえて英文を書かせる。	・ALTが理解しやすいように工夫して多くの説明文を書くことができる。	
	油山にある建物や自然についての英文を作る。	<ul style="list-style-type: none"> 資料などを利用させる。 辞書を活用させる。 例文を提示する。 受動態を入れるように指示する。 					・ALTの話の内容を大まかに理解することができる。
	油山の建物や自然についてALTに紹介する。	<ul style="list-style-type: none"> 写真や絵を使って説明しやすくさせる。 ALTに質問してもらう。 					
ALTの故郷の建物や自然についての話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> 写真や絵を使ってイメージがわくようにする。 ALTに質問させる。 						

